

# TEAM 伊良林

令和7年2月19日



【自ら考え 自ら行動し ともによりよく生きようとする子供を育てる】 長崎市立伊良林小学校 校長 片岡 勝志

## できるようになろう 「伊良林っ子 5つの約束」

2月4日（火）は、リモートで全校集会をしました。私は子供たちに次のような話をしました。

今日は、校長先生がいつも思っていること、みんなにこれができるようになってほしいなと思っていることをお話しします。それは、「伊良林っ子の5つの約束」です。

これは、知っているだけでは意味がありません。できるようにならないといけません。

- ① あいさつ・返事・ふわふわ言葉
- ② はきものそろえ いい気持ち
- ③ すわって準備 一分前
- ④ だいすきそうじ しっかりと
- ⑤ 無言整列・はさみ歩き がんばろう

どうして、この5つのことができるようになってほしいかというと、それは、「この伊良林小学校を、みんな元気で、楽しい学校にしたい」からなのです。この5つのことができるようになると、なぜ、学校が楽しくなるのでしょうか。皆さん、今日は少し考えてみましょう。

例えば、この5つの中で、一番最初に出てくること。何でしょう。「挨拶」みなさん、なぜ挨拶が大切なのか、考えたことはありますか。ありますね。

「挨拶をすると、明るい気持ちになります。周りも明るくなります。」

「挨拶をすると、元気がわいてきます。」

「挨拶をすると、なかよくなれます。」

皆さん、朝から大きな声で挨拶ができるようになると、伊良林小学校がとても明るくなります。皆さんの中には、朝、教室に入るとき、「おはようございます」と大きな声で挨拶できている人がどのくらいいるでしょうか。明日からは、朝、教室に入るとき、「おはようございます」と大きな声で挨拶をしてみてください。

挨拶の次の言葉は「返事」です。どうして返事が大切なのでしょうか。何か言われたら、「はい」と返事をして答える。返事は、相手に対して「わかりました」という気持ちを表すことになるからです。「はい」と声に出して返事をしてもらえると、自分の言葉がちゃんと伝わったんだと伝えた側も安心しますよね。返事がなかったら、伝わったのかなと不安になってしまいます。返事は、ちょっとしたことですが、とても大切なのです。

返事の次は、何って書いてありますか。「ふわふわ言葉」ですね。ふわふわ言葉がどうして大切なのか、皆さんのことだから、もう分かりますよね。ふわふわ言葉って、どんな言葉でしょう。

「ありがとう」「ごめんね」「よく頑張ったね」「大丈夫だよ」などの言葉です。これらは、相手を大切にしたり、励ましたり、温かく包んだりする言葉です。相手に安心感を与え、お互いの気持ちがふわふわと温かくなります。皆さん、ふわふわ言葉、いつも使ってくださいね。みんながふわふわ言葉が使えるようになると、この伊良林小学校が、みんな元気で楽しい学校になることでしょう。

今日は、この、「伊良林っ子の5つの約束」の1番の「あいさつ、返事、ふわふわ言葉」がなぜ大切なのか、お話をしました。あの2番、3番、4番、5番もとても大切です。それぞれに意味があります。ぜひ、皆さん、考えてみてください。そして、この伊良林っ子の5つの約束ができるようになって、この伊良林小学校を、みんな元気で楽しい学校にしてほしいと思っています。

3学期、子供たちには「伊良林っ子 5つの約束」ができるようになって、一つ上の学年に進級してほしいと思っています。ご家庭でのお声掛けをよろしくお願ひします。

## 入学説明会・体験入学

2月5日（水）は、4月に本校に入学する児童と保護者の皆様を対象にした「入学説明会・体験入学」を実施しました。入学説明会では、各担当から入学までの心得や諸準備、入学式当日に提出していただく書類等について説明をさせていただきました。PTA会長からは、PTAの意義や活動内容などについての話がありました。体験入学は、この入学説明会と同時進行で行いました。児童は、今の1年生の教室に集合。5年生児童とふれあいながら、学校生活についての話や本の読み聞かせを聞いたり、校内探検をしたりしました。

私が入学説明会の中で保護者の皆様にお話したのは、次のようなことです。

小学校では、お子様に次の二つの力を付けさせたいと思っています。

一つめは、「自分ひとりでできる力」。私たちは、子供たちの「自立」を目指します。将来的には、子供たちは親元から離れ、自立しなければなりません。小学生の時期は、自分でできることを少しづつ増やしていく時期だと思っています。身の回りのことを自分でする、勉強して学力を身に付ける。これらは、自立するためのものです。

小学校で身に付けさせたいもう一つの力は、「みんなと一緒にできる力」です。子供たちは将来、いろいろな人と付きあいながら社会の中で生きていくことになります。自分の気の合う人とは仲良くできますが、そうでない人とも協力し、うまくやっていく力を身に付けなければなりません。様々な人と関わり、折り合いをつけていく経験をどんどんさせることができます。

学校は、集団生活の場です。周りの役に立つ。周りに迷惑をかけたり、不快に感じさせたりしない。多くの子供たちの中でどのような振る舞いをすればよいのか、子供たちにしっかり考えさせていきたいと思っています。

これから子供たちは、体験を通して学び、成長していきます。楽しいこと、嬉しいこと、我慢しなければならないこと、悔しいこと、叱られること・・・。全ての体験が子供にとって自分成長につながる貴重な学びになります。子供たちには、新しいチャレンジをどんどんさせていきたいと思っています。ぜひ、背中を押していただければと思います。

子供は周りの大人を本当によく見ています。子供は周りの大人をモデルにして育ちます。ですから、私たち周りの大人も日々しっかり学んで、成長する存在として子供の前に立つことが必要です。これからぜひ親同士の、子育てネットワークを広げていただきたいと思います。そして皆さん、できれば、よその子にもたくさん声を掛けてください。

今年度の学校生活も残すところあと1か月となりました。本当に時間が過ぎるのは早いものです。一日一日を大切に、子供たちの成長をしっかり感じながら、この学年末を過ごしていきたいと思っています。